

(2) ユニット形空気調和機、コンパクト形空気調和機、パッケージ形空気調和機及びガスエンジンヒートポンプ式空気調和機のドレン用排水管には、図2.4.10に示すように送風機の全静圧以上の落差を取り空調機用トラップを設ける。ここで、落差とは、逆流しないための水深を意味する。トラップの形式は特記によるが、基本的な性能として、防臭、小動物や昆虫等の侵入防止、濁水時の注水復帰、保守・点検・清掃の容易性、施工の容易性等が要求される。排水トラップの必要寸法の考え方を表2.4.2に示す。

表2.4.2 空気調和機排水トラップ要領

	配管トラップ	ドラムトラップ	メカニカル式トラップ
負圧	<p>機内静圧：<math>-\Delta h</math>  <math>H_1 &gt; \Delta h</math>  <math>H_2 &gt; \Delta h/2</math></p>	<p>機内静圧：<math>-\Delta h</math>  <math>H_1 &gt; \Delta h</math>  <math>H_2 &gt; \text{水が吸い上げられる容量分の高さ}</math></p>	<p>機内静圧：<math>-\Delta h</math>  <math>H_1 &gt; \Delta h + H_3</math>  <math>H_2 &gt; \text{ダンパー作動長さ}</math>  <math>H_3 &gt; \text{ダンパーが作動する容量分の高さ}</math></p>
正圧	<p>機内静圧：<math>+\Delta h</math>  <math>H_1 &gt; 0</math>  <math>H_2 &gt; \Delta h</math></p>	<p>機内静圧：<math>+\Delta h</math>  <math>H_1 &gt; 0</math> (ドラム上端より上)  <math>H_2 &gt; \Delta h</math></p>	<p>—</p>

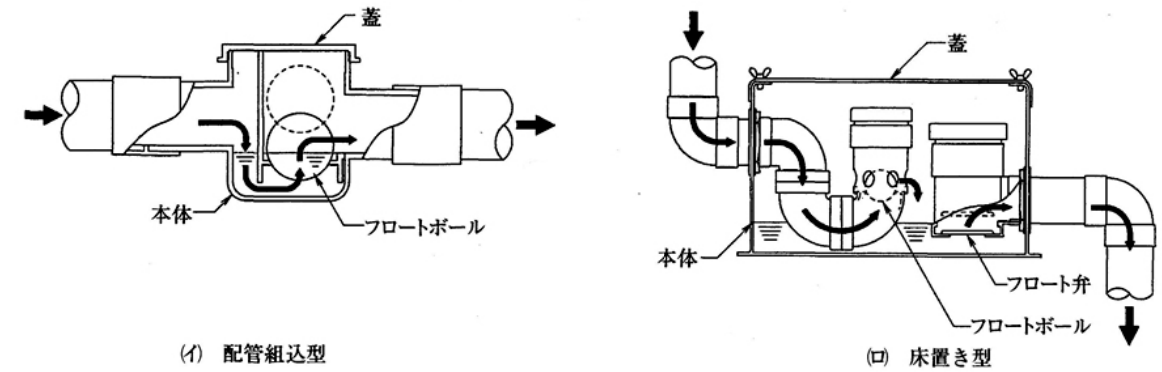


図2.4.10 フロートボール式空気調和機トラップの例

(3) 【参考】 封水が切れても、内蔵された球により汚染空気の逆流を防止する形式のトラップ（フロートボール式）の例を、図2.4.10に示す。なお、採用は特記による。